医療介護情報を用いた地域包括ケアサービス体制 評価指標の開発

ひがし の さだ のり 定律 東野

経営情報イノベーション研究科

• 連 絡 先 TEL: 054-264-5443 FAX: 054-264-5443

E-Mail: sadanori@u-shizuoka-ken.ac.ip

キーワード

介護保険制度,地域包括ケアシステム. 医療介護マネジメント, ヘルスデータサイエンス





心身の状態が悪化した場合でも、住み慣れた地域において生活を継続できるような仕 組みである地域包括ケアシステムでは、要介護者の地域生活は、介護だけでなく、生活 の前提となる住まいと自立的なくらしのための生活支援や社会参加の機会が確保され、 必要に応じて専門職による医療、看護、介護、リハビリテーション、保健・福祉サービ スなど多様なサービスや支援が必要になる。

本研究の目的は、地域包括ケアシステムの進捗状況を明らかにし、第一に、地域の医療、 介護サービス利用者の心身の状態と提供された医療、介護サービス量に関するマクロ的 なデータを経時的に収集・分析し、当該圏域で進められている事業が医療や介護需要に 与える影響について明らかにすること。第二に、地域包括ケアシステム下で提供されて いる医療や介護、生活支援サービス事業効果を評価する地域包括ケアシステム体制評価 指標を開発し、その事業効果や事業の適正化を検証することである。

図 研究プロセス

地域包括センターの 提供サービスによっ てもたらさせる効果 の内容およびその評 価手法の検討

評価データからみた事 業効果を分析

地域包括支援セン ターが実施する先駆 的な事業内容の分析

当該事業が医療や介 護需要に与える影響 とその要因を抽出

KDBシステムおよび 「しずおか茶っとシステ ム」を利用した医療介護 -タ分析

評価指標の結果と地域 における医療介護データ から見た医療、介護事 業効果を分析・指標化

地域包括ケアサービス体制評価指 標の妥当性/マニュアルの有効性 の検証

> 地域包括ケア構築体制評価 システムの完成